

広報ふたば



【表紙写真】新年へ向けて（初發神社しめ縄作り）



復興の歩みをより確かなものへ



双葉町長 伊澤 史朗



「場」の創出に向けて政策の具現化を目指してまいります。

昨年8月に帰還困難区域の取り扱いに関する政府方針が決定され、5年を目標に放射線量の低減状況も踏まえて居住可能な環境の整備を目指す復興拠点を設定し、その整備を行うことや、地元を離れて生活する帰還困難区域の住民に対し、きめ細かい生活支援の強化を検討する旨が示されました。また、この方針に基づき帰還困難区域の復興事業について平成29年度のできるだけ早期に着手できるように示されており、町としても、帰還困難区域の面的除染をはじめとする新たな枠組みによる復興事業に早期に着手できるように制度の詳細が国から示され次第、国との協議を早急に開始し、平成29年度のできるだけ早い段階に復興拠点の整備計画について国による認定を求めていきたいと考えております。

昨年10月末から開始された駅西周辺約40haの本格除染も本年3月には完了する予定であり、町内復興拠点の一部として位置付け、段階的に復旧・復興事業を進めながら町の復興を進める考えです。

また、寺沢地区に設置される復興ICについては、平成31年度の供用

開始を目指し、用地取得に向けて手続きを行っているところです。さらに復興ICのアクセス道路となる県道井手長塚線、町道久保前・中浜線ほか2路線を町の復興シンボル軸と位置付け、早期改良整備について今後も県に求めてまいります。

町民の皆さまに双葉町が復興していく姿を実感していただける年となるように職員一同まい進していく所存です。

町立学校再開から4年目を迎えます。町の将来を担う次世代の育成のため「双葉町教育ビジョン」に基づき、一人ひとりを大切にすると少人数教育、幼小中学校の連携による教育の一体化、ICT関連機器を生かした教育や英語教育など特色ある教育を推進し、成果が出てきているところです。

また、昨年はニュージールランドへの中学生海外派遣事業も実施しており、今後も実施していきたいと考えております。将来の町の復興や再生、文化・歴史の伝承の役割を担う次世代の育成は重要課題であり、町の存続に係わるものとして双葉町の最重点施策と位置付けてまいります。

町民の皆さまの生活再建につきましては、東電賠償のほか、県による復興



教育長



副町長

公営住宅の整備が行われており、さらに、昨年より避難生活に伴って発生する移動経費や就業に向けての受講料等の支援に係る生活サポート補助金事業を実施しております。さらに次年度以降の医療費等の減免、高速道路使用料の無料化の延長を昨年末に国に強く要望してきたところです。

本年も初心を忘れず、議会と連携し、職員とともに町の復旧・復興、町民の皆さまの生活支援や絆の維持に関する事業に精力的に取り組み、復興の歩みをより確かなものにしていく所存でありますので、ご理解とご協力を賜りますようお願いいたします。

寒さの厳しき折、町民の皆さまにはご健康に留意され、本年が良き年となりますようご祈念申し上げます。

平成29年の輝かしい新春を迎え、謹んで新年のご挨拶を申し上げますとともに、町民の皆さまのご健勝とご多幸を心よりご祈念申し上げます。

東日本大震災と東京電力福島第一原子力発電所事故による全町避難から、6年目の新年を迎えました。まだまだ先を見通すことができない状況ですが、希望の光も見え始めています。

昨年12月には、復興の総合計画である双葉町復興まちづくり計画（第二次）を策定しました。この計画を軸に本年は計画の実現のために「新たな産業雇用の場」「新たな生活の

希望を持って

双葉町議会議長 佐々木 清一

清一



衷心よりお悔やみとお見舞いを申し上げます。

昨年は、これまで進められてきました、両竹・浜野地区の除染も終了し、念願でありましたアーカイブ施設、復興祈念公園の設置に向けて国、県、町とで具体的な協議が進められております。さらに双葉町側の海岸堤防の工事着手、また中間貯蔵施設については、地権者の皆さまのご理解により一部施設建設の着工をみることができました。町の復興拠点として位置付けている駅西側も、国において昨年10月から本格除染が始まり、少しずつですが復興への道を歩み始めております。

双葉町復興まちづくり計画（第一次）については見直しが行われ、町民の有識者で構成された復興町民委員会に、議会からも2名の議員が委員として参加し検討を重ね、昨年12月に第二次計画が議会に示されました。この二次計画が、町の更なる復興の加速に向けての新たな5年間の始まりとなります。

復興公営住宅については、昨年、白河市と南相馬市で鍵引渡しが行わ

れました。しかし、復興公営住宅の建設が全体的に遅れており、勿来酒井地区については、平成29年度末までに住宅が完成し入居できる見込みではあるものの、議会としても町、県に対して早期の完成を強く要望をしております。

平成29年度は、帰還困難区域の拠点除染をはじめ、その他の除染についても早急に計画が作成され、復興の鍵を握る国直轄除染が切れ目なく行われるよう、しっかりと取り組んでまいります。

昨年11月には、事業者、農業者等への支援の継続や、最も身近で直接住民の皆さまに関係する高速道路使用料の無料化及び医療費等の減免の継続等について関係省庁、東京電力ホールディングス(株)廣瀬社長に対して、双葉町民の避難先の現状と補償賠償の継続、さらに原発の安全な廃炉作業等の実施について議員全員で強く要望・要求をしております。今後、町民の復旧・復興、住民支援のため議員一丸となって取り組んでまいります。

終わりに、昨年は町民の皆さまか

ら議会に対していろいろとご意見を頂きました。皆さまの意見をしっかりと受け止め、議会としての責務を全力で取り組むことをお誓い申し上げますとともに、町民の皆さま一人ひとりが健康で希望を持って日々過ごされますよう、心からお祈り申し上げます。



双葉町議会

- | | |
|-----|--------|
| 議長 | 佐々木 清一 |
| 副議長 | 岩本 久人 |
| 議員 | 菅野 博弘 |
| 議員 | 高萩 文孝 |
| 議員 | 白岩 寿夫 |
| 議員 | 羽山 君子 |

平成29年の新春を迎え、議会を代表して謹んで新年のご挨拶を申し上げます。

千年、百年に一度といわれている東日本大震災に加え、事故は起きない安全であると言われてきた東京電力福島第一原子力発電所の事故から、全町民が避難先で迎える新年も6度目となりました。

大変厳しく不自由な避難生活の中、双葉町に帰ることも叶わず亡くなられた皆さま、ご家族さまに対し

茨城県東海村立舟石川小学校6年

平田 明里さん(新山)



震災から6年が経ち、私は6年生になりました。震災当時は、幼稚園の年長さんでした。急な震災のため、友達と離ればなれになってしまいました。みしくてよく泣いていました。

何年か経ち、落ち着いてからは、町が開催してくれている「集まれ、ふたばっ子」に参加したり、特に仲の良かった友達と個人的に会って遊んだりしています。年に1、2回しか会えないけれど、双葉の友達とは特別なので、毎回会えるのがとても楽しみです。

中学校へ入ると、部活や勉強などで忙しくなると聞いています。中々都合が合わなくなってしまうかもしれないけれど、一年に一回でもいいので、会ったり遊んだりしてずっと友達でいたいです。

新潟県柏崎市立剣野小学校6年

田中 将太くん(新山)



東日本大震災時に幼稚園の年長組だったぼくも今は6年生になりました。新潟に避難してきて、最初は誰も知らない人ばかりで不

安だったけれど、今はこっちの友達ができました。来年の春からいよいよぼくも中学生になります。ぼくは中学生になったら頑張りたいことがあります。

一つ目は部活です。中学生になると勉強も難しくなり、覚えることもたくさんあるので、今まで以上に頑張りたいです。二つ目は部活です。卓球に少し興味があるので、もし入部したら全力でやろうと思います。そして、いろいろなことに挑戦していこうと思います。

年男年女の子どもたちに 今年の抱負や目標を聞きました



新潟県柏崎市立柏崎小学校5年

前田 奈々葉さん(新山)



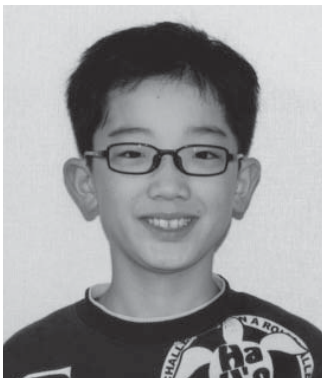
私が今年頑張りたいことは水泳とそろばんです。水泳は1年生から始めて6年目になります。今年は50メートル自由形で30秒台を目標

に頑張りたいと思います。そして、リレーでは去年より少しでもタイムを縮められるようキックを力強くして同時に飛び込みも強化したいです。

そろばんは、今年中に二級合格を目指します。一つの問題を解くのに時間がかかるので、一問一問を早く正確に解けるように努力したいと思います。水泳もそろばんも目標を持って頑張り、中学生になっても続けて記録をどんどん伸ばしていきたいです。

茨城県水戸市立千波小学校5年

井戸川 幸生くん(長塚)



震災の時にぼくは、まだ幼稚園の年中組でした。震災後、しばらくは茨城の祖母の家でお世話になっていました。小学校に入る前には水戸

市に引っ越して、それから5年が経ちます。父とはなかなか会えない生活になり、その間、すごく淋しい思いをしていました。そんな時、福島で震災にあった人たちの交流会に参加しました。そこで、そば打ち体験をさせてもらってから、そば打ちに興味をもちました。今はもっと練習をして、おいしいそばが打てるように目指したいと思います。そして、いつかぼくのふるさとの福島の人たちに食べてもらえる日がくればいいなと思っています。

父とはなかなか会えない生活になり、その間、すごく淋しい思いをしていました。そんな時、福島で震災にあった人たちの交流会に参加しました。そこで、そば打ち体験をさせてもらってから、そば打ちに興味をもちました。今はもっと練習をして、おいしいそばが打てるように目指したいと思います。そして、いつかぼくのふるさとの福島の人たちに食べてもらえる日がくればいいなと思っています。

いわき市立中央台北小学校6年

澤上 彩乃さん(新山)



震災があった時は、幼稚園生でした。卒園式ができなくて、とても残念だった思いがあります。そして、知らない所で小学校の入学式になり

相馬市立桜丘小学校5年

志賀 亮介くん(郡山)



ぼくは新年の抱負として頑張りたいことがあります。それは、字を丁寧に書くことです。クラスには字の上手な人がたくさんいるのです

とても不安でした。でもみんな親切で、友達もすぐできました。今の小学校に転校してからも友達もできて毎日楽しいです。もうすぐ小学校も卒業ですが、残りわずかな小学校生活を楽しんできたいです。

そして、今年は中学生になります。私の新年の抱負、それは、中学校で勉強も部活もどちらも頑張ることです。勉強は、テストに向けて毎日こつこつと勉強し、部活は、試合に備えて練習し、どちらも頑張りたいと思います。

が、ぼくはその逆で字があまり上手ではありません。なので、2017年こそは、字を上手に書けるようにしたいです。そのために、一字一字気をつけて書くようにしたいです。

それから今、頑張っていることがあります。それは学校での放送委員会の仕事です。ぼくは火曜日の担当なのですが、何度経験していてもやはり緊張します。放送する時に気をつけていることは、かまわずに放送することです。この二つを頑張りたいです。



2017年



茨城県つくば市立島名小学校5年

中村 遥香さん(中田)



私の新年の抱負は3つあります。一つ目は、今年は6年生になります。勉強が難しくなるので授業は集中して、先生の話をよく聞いて真剣に取り組みたいです。

いわき市立藤原小学校5年

渡部 了くん(新山)



(了くんと弟の礼くん)

二つ目は、学校に休まないで行くことです。かぜをひかないように、手洗い・うがいをして、給食もお母さんの作るご飯も残さず食べます。テニスの練習も、もつと上手になれるように頑張つて、体力をつけたいと思います。

三つ目は、もつと友達と仲良くしたいです。避難して、静岡県と茨城県にたくさん友達ができました。みんなとてもやさしくしてくれました。そのうれしかったです。私もそんな友達のように笑顔で誰にでもやさしくしていきたいです。

ぼくの今年の目標は、小学校最後の一年を楽しく過ごし、いろいろなことに挑戦することです。

ぼくは、今、福島ファイアーボンズスクールで週一回、弟と一緒にバスケットボールを習っています。スキルアップテストがあり、合格できるように頑張っています。

これからも、勉強もスポーツも一生懸命頑張っていきたいと思います。

第4回双葉町議会定例会

12月13日招集の平成28年第4回双葉町議会定例会で、伊澤史朗町長が行政報告を行いました。その概要をお知らせします。



行政報告



おいて開催され、10月16日には第3回市町村対抗福島県ソフトボール大会が相馬光陽ソフトボール場で開催されました。選手の皆さんの復興への願いが込められた元気いっぱいプレーに大変勇気づけられたところです。

9月定例会以降の
行政経過

市町村対抗

野球・ソフトボール大会

9月11日、第10回市町村対抗福島県軟式野球大会が県営あづま球場に



敬老会

10月2日、震災後休止しておりました双葉町敬老会をいわき市のスパリゾートハワイアンズで開催し、県

内外から多数の方々に参加いただきました。式典では、218名の出席者の代表として101歳になられた今村ちよ様（長塚二）に記念品を贈らせていただきました。また、福島民報社から6組の金婚夫婦に表彰状と記念品が贈られました。式典終了後には、双葉町出身の演歌歌手、木村友衛さんによる歌謡ショーが行われ、出席された皆さんは楽しいひとときを過ごされていました。



生活サポート補助金説明会

10月3日から生活サポート補助金の申請受付を開始いたしました。また、大熊町と合同で補助金の説明会を10月4日から11月12日にかけて、県内6カ所・県外9カ所の計15カ所

で延べ25回開催しました。説明会には528名の町民の皆さんの参加をいただきました。

町政懇談会



10月14日から11月26日にかけて、福島県内7カ所、福島県外7カ所の計14カ所で町政懇談会を実施し、221名の町民の皆さんにご出席いただきました。町政懇談会では、まず私から町内復興の取組について報告した後、担当課長より、復興まちづくり計画（第二次）の検討状況、生活サポート補助金関係、町共同墓地整備等について、教育長より町立学校の状況について説明を行いました。続いて、町民の皆さんから町政全般について、多くのご意見、ご

要望、ご質問をいただきました。今回の懇談会で出されたご意見等を、今後の町政運営に反映させるべく検討を深めてまいります。

― 総合美術展・作品展覧会 (郡山市) ―

10月25日、26日の両日、郡山ビッグアイで双葉町芸術文化団体連絡協議会主催の第29回双葉町総合美術展と第3回双葉町民作品展覧会が開催され、すばらしい作品が展示されました。多くの町民の皆さんが会場を訪れ、作品の鑑賞とともにお互いの再会を喜び合いました。会員をはじめ、出品されました皆さんに感謝申し上げます。



― 産業拠点企業誘致説明会 ―



10月26日、中野地区復興産業拠点への立地に向けた町商工会会員を対象とした企業説明会を開催し、15事業者に参加をいただきました。説明会では、町から復興産業拠点の概要とインフラ復旧のスケジュールを説明したのち、福島相双復興官民合同チームから、事業再開に係る支援策等について説明いただきました。今後は、今回実施した復興産業拠点への立地意向に関する調査結果を精査し、拠点整備に反映させるとともに、産業団地への企業誘致を進めてまいります。

また、福島第一原子力発電所の廃

炉関連事業者等に対しても、拠点概要等の説明会を11月11日に開催し、29事業者に参加をいただきました。

― 作品展覧会(いわき市) ―

10月29日、30日の両日、勿来地区文化協会のご支援により、勿来市民体育館で開催された勿来地区総合文化展において、第3回双葉町民作品展覧会を開催しました。町立小中学校の児童生徒はじめ、いわき市、加須市などから、町民の皆さんの作品が出展され、勿来地区の皆さんとの文化交流を図りました。

― 駅西地区本格除染 ―



10月31日、町内の帰還困難区域では初めてとなる駅西地区の本格除染が着工され、来年3月15日までに約40ヘクタールの除染が実施されます。

― 表彰式 ―

― 友好都市盟約締結式 ―

11月3日、いわき市植田町の「八幡台やまたまや」において、平成28年度双葉町表彰式を挙行いたしました。式では、4名の方々に功労表彰、3名の方々に善行表彰、10名の方々に永年勤続表彰、10団体に感謝状をそれぞれ贈りました。

これまで多年にわたりそれぞれの分野で精励努力されてきたことに對して、その功績を称えるとともに、双葉町の復興に向けて今後とも一層のお力添えをお願い申し上げます。

また、表彰式終了後に埼玉県加須市との「友好都市盟約締結式」を挙行いたしました。大橋良一加須市長はじめ、多数の来賓の方々にご臨席を賜り、盟約書に調印をいたしました。加須市とは今後さらに交流を深め、新たな友好の歴史を築いていきたいと考えております。



―町立幼・小・中学校梅檀祭―

11月5日、幼稚園・小・中学校による「梅檀祭」が双葉町立学校仮設校舎体育館において開催されました。子どもたちが一生懸命練習を重ねた和太鼓や創作劇、合唱などが発表され、参観された皆さんに大きな感動を与えました。

―町道地権者説明会―

11月8日、町道山田・郡山線改良工事の地権者説明会を双葉町いわき事務所で開催いたしました。



―消防団秋季検閲式―

11月12日、震災後4回目となる双葉町消防団秋季検閲式を、双葉町立

学校仮設校舎体育館で開催いたしました。団長の指揮のもと、閲団と通常点検が行われ、団員の皆さんの士気の高さを確認いたしました。



―福島第一原発視察―

11月15日、中間貯蔵施設の受け入れ分別施設及び土壌貯蔵施設の着工式が現地で開催されました。

また、同日、福島第一原子力発電所を視察し、廃炉措置の実施状況について確認してまいりました。

当日は、5、6号機中央操作室や既設の固体廃棄物貯蔵庫第7棟及び建設中の第9棟、廃棄物関連設備等の整備予定地などを確認したほか、新事務本館では、東京電力社員に対

して、日頃からの廃炉作業への地道な努力に町民を代表して謝意を伝えたいところです。今後の廃炉措置の取組が町の復興に大きく影響していくこと、さらに、社員一人ひとりが廃炉への強固な意志を持って日々精励されるようお願いしたところであります。

町としましても、東京電力が計画している固体廃棄物関連設備等の新・増設をはじめとする、福島第一原子力発電所の安全かつ着実な廃炉措置の実施と、正確かつ迅速な情報提供を、引き続き強く求めてまいります。

―ふくしま駅伝―



11月20日、第28回市町村対抗福島県縦断駅伝競走大会が開催されました。選手の皆さんは、大会を前に北塩原村で2泊3日の合宿を行い、チームワークを高め、当日は心をつにして大会に臨み、見事な走りを見せてくれました。選手の頑張りや、町民の皆さんに、元氣と感動を与えていただけたものと思います。監督・コーチ・選手、そしてご支援していただきました関係者の皆さんに改めて感謝申し上げます。

―住民意向調査結果―

11月25日、9月に実施した「双葉町住民意向調査」結果の速報版が公表されました。今回の調査結果のうち、帰還意向について「戻りたいと考えている」という回答割合が0.1ポイント増えており、町の復興に対する町民の期待感の表れと考えております。今回の調査結果を重く受け止めて、町の復興が目に見えて実感できるように、引き続き復興の取り組みを推進してまいります。

―町立中学校授業公開―

11月30日、福島県の施策である「グローバル人材を育む小中連携英語教育推進事業」の一環として、双葉中学校で3学年の英語の授業公開が行われました。授業は、すべて英語で進められ、小中連携の英語教育

を目指す小中学校の教職員や保護者など多くの参加者から高い評価を得たところです。

町立幼稚園・小・中学校の児童生徒数は、12月5日現在40名となっております。今後も教育環境を充実させ、復興に資する人材の育成と生徒数の増加に向けて取り組んでまいります。



―学校保管の廃棄物搬入―

12月1日、県内の学校等の除染土壌等の一時保管場として使用するため、環境省が進めていた双葉総合公園の一部の整備が完了し、県内の学校等の除染土壌の搬入が開始されました。

―国への要望活動―

12月2日、町の復興に向けた重点課題について、平成29年度予算編成等に向けて国への要望活動を行いました。要望項目としては、復興財源と国の支援体制の長期的な確保、「帰還困難区域の取扱いに関する考え方」の早期具体化と町の意向を最大限尊重した計画の認定、帰還困難区域全域の帰還環境整備・避難指示解除に向けた取組の継続、「中野地区復興産業拠点」の整備や、「JR双葉駅西側・新市街地ゾーン」等の町内の生活拠点整備に向けた支援、町内除染の早期かつ計画的な実施、被害実態に即した賠償の実施と町民の生活支援、避難者に対する高速道路の無料措置の延長、医療費一部負担金等の減免の継続などを強く要望してまいりました。

要望先の大臣などには、町からの要望内容について概ねご理解をいただいたと考えておりますが、引き続き町の復興と町民の生活再建の実現に向けて国等への働きかけを粘り強く行ってまいります。

―復興公営住宅―

12月5日、白河市に整備された復興公営住宅の南湖南(なんこみなみ)団地と白坂団地の鍵引渡し式が行われました。

復興公営住宅については、白河市のほか、いわき市、郡山市、南相馬市など県内各地で整備が進み、順次入居が行われているところです。鍵引渡し式では、復興公営住宅の早期完成に向けて、国、県をはじめ関係機関の一層のご尽力を、改めて私からお願いたしましたところです。



勿来酒井地区復興公営住宅基盤整備工事の様子

次に、いわき市勿来酒井地区の復興公営住宅の入居者募集状況ですが、現在集合住宅48戸と木造長屋(テラスハウス)8戸の再募集が29年1月11日まで、戸建て住宅3戸の定期募集が12月21日まで行われていますので、引き続き県とも連携した入居支援に取り組んでまいります。また、勿来酒井地区復興公営住宅

の基盤整備工事の工事進捗率は、10月末現在で45%となっております。

―復興まちづくり計画 第二次―

「復興まちづくり計画(第二次)」の策定に向けた取組についてですが、10月以降、「人の復興部会」と「町の復興部会」をそれぞれ1回ずつ開催し、帰還困難区域の取扱い方針を踏まえた今後の町の取組についてご議論いただきました。

これまでの部会での意見も踏まえ、11月1日の第2回双葉町復興町民委員会に第二次計画の骨子案、12月1日の第3回委員会に、第二次計画の案をそれぞれお示しし、熱心なご議論をいただきました。特に第3回委員会では、「復興まちづくり計画(第二次)策定に関する意見書」を取りまとめ、田中委員長及び岡村副委員長から手交いただきました。

現在、計画の再精査を進めているところであり、月内を目的に「復興まちづくり計画(第二次)」を策定したいと考えております。今後は町の復興に向け、計画に盛り込まれた内容の早期実現を目指し、強い意気込みを持って取組を進めていきたいと考えておりますので、議会の皆さんにも、ご理解とご協力をお願いいたします。

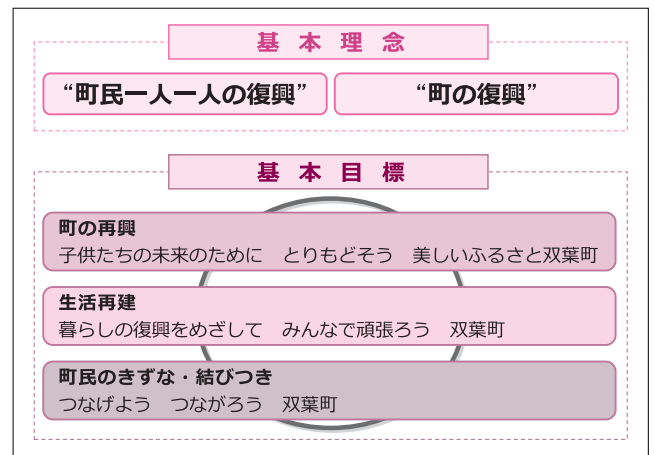
第3回双葉町復興町民委員会を開催しました

「復興まちづくり計画（第二次）の
策定に向けた意見書」がまとめられました

12月1日、平成28年度第3回双葉町復興町民委員会をいわき事務所で開催しました。

委員会では、これまで「人の復興部会」と「町の復興部会」をそれぞれ3回ずつ開催し、町民の生活再建の実現に向けた取組、町民のきずなの維持・発展に向けた取組、町の復興・再興に向けた取組、町への帰還に向けた取組方針などの課題について、議論を重ねてきました。

こうした部会での意見を踏まえ、11月1日の第2回委員会に第二次計画の骨子案、12月1日の第3回委員会に、第二次計画の案をそれぞれお示しし、熱心な議論をいただき、特に第3回委員会では、委員会が出された意見を踏まえて「復興まちづくり計画（第二次）」を早期に策定するとともに、計画に盛り込まれた内容の早期実現を目指すよう求める意見書が取りまとめられ、田中委員長及び岡村副委員長から伊澤町長に手交されました。

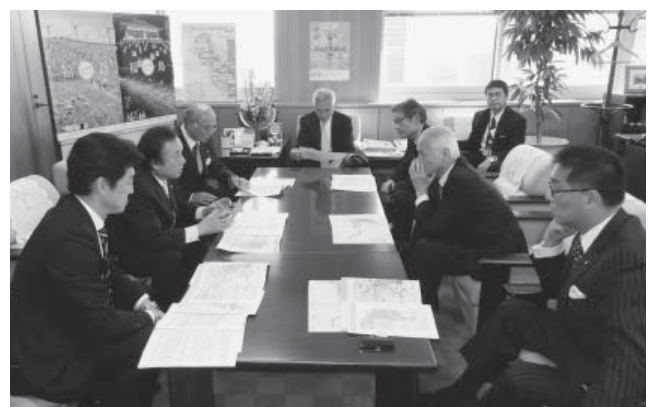


平成29年度国の予算編成に向けて要望活動を行いました

12月2日、復興庁、文部科学省、環境省、経済産業省、国土交通省、厚生労働省を訪問し、大臣、副大臣などに双葉町の復興に向けた重点要望書を手渡しました。

主な要望項目は次のとおりです。

- ・被害実態に即した賠償の実施と町民の生活再建支援
- ・避難者に対する高速道路の無料措置の延長
- ・医療費一部負担金等の減免の継続
- ・町内除染の早期かつ計画的な実施
- ・復興財源と国の支援体制の長期的な確保
- ・「帰還困難区域の取扱いに関する考え方」の早期具体化と、町の意向を最大限踏まえた計画の認定
- ・帰還困難区域全域の帰還環境整備・避難指示解除に向けた取組の継続
- ・「中野地区復興産業拠点」の整備や、「JR双葉駅西側・新市街地ゾーン」等の町内の生活拠点整備に向けた支援



東京電力ホールディングス(株) 福島第一原子力発電所を視察

11月15日、福島第一原子力発電所を視察し、廃炉措置の実施状況を確認しました。

今回は、5、6号機中央操作室や既設の固体廃棄物貯蔵庫第7棟及び建設中の第9棟、廃棄物関連設備等の整備予定地などを確認したほか、新事務本館では、伊澤町長が東京電力社員に対して、日頃から

の廃炉作業へのご尽力に町民を代表して感謝を申し上げるとともに、今後の廃炉措置の取り組みが、町の復興に大きく寄与していくとあいさつし、社員一人ひとりの安全かつ着実な廃炉措置実施へのご協力をお願いしました。



学校などに保管の除染廃棄物を町有地に搬入

県内の学校などに保管されている除染廃棄物を中間貯蔵施設建設予定地内の町有地に搬入する作業が12月1日より開始されました。

町では、ふくしまの未来を担う子供たちの心身の健康に配慮する観点から、県内の学校などに保管されている除染廃棄物を受け入れるために町有地を活用することとしておりました。双葉総合公園を一時的な保管場にする整備が進められてきましたが、このたび、多目的グラウンドの東側区画の整備が完了したことから、搬入が開始されたものです。

多目的グラウンドは東西2区画に分けて工事が行われており、両区画の整備完了時には、合計で約4万8千立方メートルの搬入が可能となります。

搬入開始日には二本松市からの除染廃棄物が搬入され、その後、相馬市からの搬入も行われています。他の市町村も準備が整い次第、順次、搬入が行われる予定です。

町では、事業実施者である環境省に対し、輸送時の安全に万全を期すよう、引き続き対応を求めています。

復興公営住宅鍵引渡式 — 白河市南湖南団地・白坂団地 —



福島県が白河市に整備を進めていた復興公営住宅「南湖南団地」「白坂団地」がこのたび完成し、12月5日、鍵引渡し式が行われました。

式では、伊澤史朗町長が「入居ができる運びとなったことは、生活再建に向けた一歩を踏み出す大きな機会です。ここで新たなコミュニティを築かれ、安心した暮らしが取り戻せることを願っています」と祝辞を述べました。

続いてテープカットが行われ、復興公営住宅の完成を祝い、その後、県南建設事務所長から入居者の代表の方へ鍵が手渡されました。

南湖南団地には、18世帯25人、白坂団地には3世帯5人の双葉町民の方々が入居します。

双葉町長選挙及び双葉町議会議員一般選挙のお知らせ

投票日は 1月29日(日)です。

任期満了に伴う双葉町長選挙及び双葉町議会議員一般選挙が平成29年1月19日(木)告示、平成29年1月29日(日)投票で執行されます。皆さんの声を町政に反映させる大切な選挙です。棄権しないで投票しましょう。

■投票できる方

- ・日本国民である方
 - ・満18歳以上の方(平成11年(西暦1999年)1月30日までに生まれた方)
 - ・平成28年10月18日までに双葉町に転入届を提出し、引き続き双葉町に住民登録をされている方
- ※投票する前に他の市区町村へ転出された方は、投票できません。

■投票所

○1月29日(日)の投票は次の3カ所で行うことができます。

・双葉町いわき事務所

(いわき市東田町2-19-4 1階中会議室)
投票時間 午前7時から午後7時

・双葉町郡山支所

(郡山市朝日1丁目20-2 1階会議室)
投票時間 午前7時から午後5時

・双葉町埼玉支所

(埼玉県加須市騎西36-1 騎西総合支所 1階会議室)
投票時間 午前7時から午後5時

※いわき事務所と埼玉支所・郡山支所は投票終了時間が異なりますので、ご注意ください。

※県内の会津地方や猪苗代地方に避難されていて、各期日前投票所に行くことができない方につきましては、申し訳ありませんが、不在者投票を請求することにより現在居住されている市区町村の選挙管理委員会において投票することができますので、ご利用願います。

○全国各地に避難されている皆さまへ

現在、居住されている市区町村の選挙管理委員会では不在者投票を行うことができます。投票方法につきましては、先に送付いたしました「選挙のお知らせ」(請求用紙と返信用封筒を同封)に記載してあります。

※ただし、上記各投票所(期日前投票所含む)で投票できる方は、請求しないようご注意ください。請求してからでは期日前投票所や当日投票所で投票することができなくなる恐れがあります。

■【期日前投票】1月20日(金)～1月28日(土)

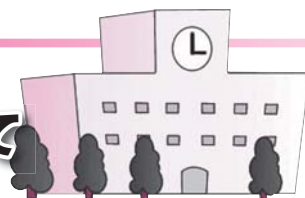
投票当日、投票できない方は期日前投票で投票できます。期日前投票のできる投票所は下記のとおりです。

期日前投票所の名称	期日前投票所の住所及び設置期間
双葉町いわき事務所(1階中会議室)	いわき市東田町2丁目19番地の4 1月20日(金)～28日(土) 午前8時30分～午後8時
双葉町郡山支所(1階会議室)	郡山市朝日1丁目20番2号(旧仙台食糧事務所郡山支所) 1月21日(土)～22日(日)、28日(土) 午前8時30分～午後7時
双葉町埼玉支所(1階会議室)	埼玉県加須市騎西36番地1(加須市騎西総合支所内) 1月20日(金)～22日(日)、28日(土) 午前8時30分～午後7時
郡山市喜久田町早稲原応急仮設住宅(集会所)	郡山市喜久田町早稲原上ノ端54番4 1月20日(金) 午前9時～午前12時
郡山市日和田町高倉応急仮設住宅(集会所)	郡山市日和田町高倉字諏訪前82番地 1月20日(金) 午後2時～午後5時
白河市郭内第二応急仮設住宅(集会所)	白河市郭内151番地29 1月23日(月) 午前10時～午後4時
いわき市平体育館(会議室1)	いわき市平字正内町6番地1 1月24日(火) 午前10時～午後4時
南相馬市市民文化会館ゆめはっと(2階練習室3)	南相馬市原町区本町2丁目28番地1 1月25日(水) 午前10時～午後4時
いわき市南台応急仮設住宅(第2集会所)	いわき市南台三丁目1番地1 1月26日(木) 午前10時～午後4時
福島市さくら応急仮設住宅(談話室)	福島市さくら一丁目10番地1 1月27日(金) 午前9時30分～午前11時30分
福島市北幹線第二応急仮設住宅(集会所)	福島市飯坂町平野字内小原田8番地1 1月27日(金) 午後2時～午後5時
郡山市富田町若宮前応急仮設住宅(集会所)	郡山市富田町字町田11番地 1月28日(土) 午前9時～午前12時

【問い合わせ先】 双葉町選挙管理委員会(双葉町いわき事務所総務課内) ☎ 0246-84-5201

教育長からのメッセージ

帰還後の学校教育について



郡内各町村の動向

前回「双葉町復興町民委員会」について述べましたが、今回は「**帰還後の学校教育**」について現時点での考えを述べたいと思います。

現在、郡内の町村で原発事故による避難が解除され帰還を果たしている町村は川内村、広野町、楢葉町の3町村で、来年は葛尾村が帰還する予定です。学校の状況について言えば、川内村、広野町は既に元の校舎で再開しており、楢葉町は来年度、葛尾村は2年後の再開を目指し、他町村は未定のようなようです。特徴的なことは、帰還後の学校再開時には子どもの数が激減し、現在よりも更に困難な状況が生まれているということです。郡内の教育長はじめ関係者は、どうすれば子どもが集まるか頭を悩ませています。

双葉町立学校の今後

わが町の学校はどうかと言えば、他町村の状況を見ると、当面**いわき市の仮設校舎での教育を充実させ**、帰還後は予想される少数の子どもたちを**近くの町の学校に通わせる**という案が現実的ではないかと思えます。国や県は、こうした状況をかながみて様々な支援策を考えています。帰還する子どもの数が増えた時には、双葉町での学校再開も当然ながら考えない訳にはいきません。いわき市と双葉町に二つの町立学校を開校することもあり得るかも知れません。また、他のアイデアとして、郡内の学校を一カ所に集約する、例えば富岡以北の学校を1つの町の学校に集約するのです。こんな構想が出てくるのも、今日の厳しい現状を考えればやむを得ないことです。むしろ、**様々なアイデアを考えた方が選択肢が増えて面白い**と言えるのではないかと思います。

第2のふたば未来学園高校

一昨年4月、広野町に開校した「**ふたば未来学園高校**」は、当初の心配（「子どものいない双葉郡内に学校を作ってどうするのか」、「原発の汚染水問題を抱える双葉郡に学校を作る必要はない」等）をよそに、この2年間定員を上回る志願者があり、国や県の支援を受けてこれまでにない新しい教育を展開しており、内外から注目されています。平成31年には併設中学校も誕生し、驚くほど充実した施設や環境の整った新校舎で、更に飛躍が期待されるところです。「**同様のコンセプトを持つ学校をもう一つ郡内に作ったならば、きっと子どもが集まるに違いない**」と考えますが、いかがでしょうか。「ふたば未来学園高校」には郡内外から生徒が集まり、寮も完備しています。開校2年目の今年は、郡外の入学者が増えているようです。今後の郡内の学校の在り方の大きなヒントにすべき内容だと思っています。

復興に必要なビジョンと支援策

前回も述べましたが、町の復興を考える際に大切なことの一つとして、**復興へのイメージを膨らます**こととそのための**ビジョンを持つこと**が挙げられます。学校を再開させ多くの子どもを入学させることは大変困難であることは誰もが考えています。一方で、それぞれの町村の復興を考える際に若い世代や子どもを帰還させることは、インフラ整備や事業の再開同様に最重要課題として位置づけられるべきものです。つまり、**学校再開は町村の復興とリンクさせて**考えなければいけません。「双葉町復興町民委員会」では、震災前とは明らかに異なる、言わば**新しいまちづくりのイメージやビジョン**が示されていますが当然のことです。学校もこれまでとは異なる視点で「ふたば未来学園高校」の成功事例も参考にしながら、魅力ある教育、様々な領域の著名人による新たな応援団、さらには充実した施設・設備、寮等を整備することで、保護者や子どもたちにアピールすることができるのではないかと考えています。

そして魅力ある教育により、国内外で活躍できる能力開発、困難な状況を生き抜く態度や意欲の醸成、復興を担う人材育成が急務です。今後の教育の在り方を今から考えていかななくてははいけません。**前例無き被災地には、前例無き支援、大胆な復興ビジョン**が必要です。国や県の支援を得ながら、町立学校の今後の様々な復興ビジョンを、多くの町民の皆さんと共にイメージしていきたいと思えます。

双葉町教育長 半谷 淳

今泉春雄さん（長塚二）が 公認スポーツ指導者 永年表彰を受賞

今泉春雄さんが福島県体育協会の推薦を受け、スポーツの指導育成及び組織化、競技力の向上に貢献し、特に顕著な功績があった方に贈られる公認スポーツ指導者永年表彰を受賞され、12月10日に東京都TKPガーデンシティ品川において開催された表彰式に出席されました。

今泉さんは、福島県スポーツ指導者協議会の理事として、同協議会の発展、特にジュニアスポーツ指導についてその基礎となる組織づくり等に尽力されてきました。また、双葉ふれあいクラブ立ち上げの際には、中心となって組織の運営や指導にあたり、県内の総合型地域スポーツクラブの発展に先頭となり活躍されました。

12月16日、いわき事務所を訪れ伊澤史朗町長と半谷淳教育長に受賞の報告をされました。伊澤町長は「永年の功績が評価されての受賞はとても



素晴らしいです」と称え、半谷教育長は「ここまで続けてこられるまでには、大変な苦労もあったと思います。今後のご活躍も期待しています」と話されました。

今泉さんは「震災後の活動は厳しいものがあるが、できるかぎり活動していきたい」と述べられました。

標葉せんだん太鼓保存会 日本太鼓シニアコンクールで準名人（第2位）を獲得



標葉せんだん太鼓保存会（横山久勝会長）が、12月4日、石川県七尾市で行われた第13回日本太鼓シニアコンクールに出場し、準名人（2位）を獲得しました。

出場資格が満60歳以上ということで、5人での出場となりましたが、会場いっぱい響き渡る力強い演奏を披露し、初出場ながら素晴らしい成績を収めました。

横山会長は「初出場で準名人を獲得できるとは思ってなかったので、とてもうれしい。これを励みに今後の活動にも力を入れていきたい」と話されました。

◆ 町立小中学生 双葉郡ふるさと創造学サミットへ参加 ◆

12月3日、郡山市ビックパレットふくしまにおいて、第3回双葉郡ふるさと創造学サミットが開催されました。これは、「震災で子どもたちが得た経験を、生きる力に」との思いで始まり、自ら未来を切り拓く力とふるさとへの誇りを育むことを目指して行われています。

町立学校からも小中学生が参加し、小学生は、総合的な学習の時間で取り組んだ「双葉ばら園」について大勢の方々の前で元気に発表しました。中学生は、2つの発表を行いました。1、2年生は、双葉と同じ避難の生活を余儀なくされているシリア難民について、「国際理解教育」の授業を通して学んだことを発表しました。一方、3年生は「双葉町の将来」と「自分の将来」について、総合的な学習の時間で学んできたものを「自分の生き方について」というテーマで発表しました。



双葉中学校



双葉中学校で授業を公開

11月30日、双葉中学校において、3学年の英語の授業公開が行われました。

公開された授業は、松本涼一先生とALT（英語指導助手）アンソニー・バラード先生のチームティーチングにより行われ、町教育委員や郡内外の教育関係者など約50人の参観者がありました。

自分の好きなものや好きな食べ物などを who, which, that を使って表現することを目的とした授業で、ゲーム形式の「すごろくトーク」やトークショー形式で先生方の質問に答えていくものなど、生徒が楽しみながら英語を用いて質問し合ったり、自分のことを表現

したりできるように、工夫されていました。

授業はすべて英語を使って進められていきましたが、先生方が説明するばかりの授業ではなく、生徒たちが積極的に活動し、教室に英語を使った会話が飛び交う授業でした。

1学年の時からコミュニケーション能力の向上を目指して授業を行っており、そのため、生徒たちは、英語を使って質問したり答えたりすることを恐れずに、先生方のユーモアあふれる授業に生き生きと取り組んでいました。

参観した皆さんは、メモを取りながら熱心に見入っていました。



双葉ふれあいクラブからのお知らせ

平成28年度 双葉町民ボウリング大会

- 日 程…平成29年2月4日(土)
受 付 開 始：12時45分～
ゲ ー ム ス タ ー ト：13時30分～
- 場 所…鏡石空港ボウル
鏡石町鏡沼216
☎0248-62-4142
- 参 加 費…500円
- 対 象 者…小学生以上の方
- 競 技 方 法…1人3ゲーム、ハンディキャップ制

- 表 彰…1～3位
- 申 込 締 切…平成29年1月27日(金)
電話かFAXにてお申し込みください。
- そ の 他…保険については、双葉ふれあいクラブで加入しているイベント共済が適用されますが、それ以上の補償はありませんのでご了承ください。

初心者の方もお気軽にご参加ください!

ご成人おめでとうございます

成人式実行委員



板倉健太さん



北崎成珠さん



大住敦史さん



高橋茉佑さん

成人を迎えて

成人式実行委員長 きたざき なるみ 北崎 成珠

東日本大震災から約6年が経ち、こうして双葉町の新成人として迎えられたことを、心より嬉しく思います。

あの日から私たちの環境は大きく変わりました。そのような現状で、次の世代として自分たちに何ができるのか、深く考え、責任ある行動をしていかなければなりません。

少しでも早く立派な社会の一員となるため、努力していきたいと思います。これからも、皆さまのご指導のほど、よろしくお願い申し上げます。

平成29年 成人者名簿

(五十音順)

双葉町成人式

日時：平成29年1月3日(火)
 受付 11時30分～
 記念撮影 12時45分～
 式典 13時15分～
 場所：いわきワシントンホテル

男子 40人

氏名	行政区	氏名	行政区	氏名	行政区	氏名	行政区
石井 翔	三字	奥野 大地	三字	白玉 樹	新山	林 由和	山田
石澤 昌悟	郡山	神田 泰彰	三字	杉森 寛史	三字	松永 圭汰	寺松
板倉 健太	下条	菊地 光浩	山田	鈴木 隆聖	下条	松本 啓甫	寺松
井戸川 直樹	中田	熊野 雄大	三字	竹内 龍輝	寺松	光家 亮介	三字
井上 大生	下条	蔵野 建至	長塚二	田中 大成	三字	吉田 克久	山田
飯屋崎 光太	長塚二	木幡 一心	羽鳥	永井 洸平	長塚二	吉田 寛将	渋川
遠藤 和希	新山	相良 泰智	鴻草	中井 章太	長塚一	吉田 廉	新山
大住 敦史	羽鳥	佐々木 叡	三字	西内 翔	三字	渡辺 崇博	中田
大友 達也	三字	佐藤 慎也	郡山	新田 里樹	新山	渡部 時生	羽鳥
奥 直人	下条	志賀 嵩央	浜野	根本 圭輔	長塚二	渡邊 遼河	三字

女子 32人

氏名	行政区	氏名	行政区	氏名	行政区	氏名	行政区
荒木 香穂	浜野	菅野 遼歌	郡山	鈴木 沙野	山田	林 友莉	三字
池田 実穂	下条	菊地 麻友子	山田	高野 彩音	下条	広田 美穂	長塚一
井戸川 真菜	長塚一	北崎 成珠	羽鳥	高橋 茉佑	長塚一	松本 玲奈	長塚二
猪井 香穂	新山	熊野 栞奈	三字	千代田 明奈	羽鳥	矢口 麻耶	下条
岩川 安奈	長塚一	黒澤 綾乃	新山	富谷 絵莉奈	長塚一	山本 美雅	三字
梅田 樹	下条	塩田 里菜	長塚二	中高 奈緒美	下長塚	横山 伶奈	鴻草
加藤 幸奈	長塚一	白井 美帆	長塚二	西内 三紗	細谷	吉田 さくら	下条
加村 光来	三字	杉田 紋伽	寺松	西内 理奈	下長塚	渡邊 留衣	郡山

新成人の皆さまおめでとうございます

◆ 20歳になったら国民年金 ◆

日本に住む20歳から60歳未満のすべての人は、国民年金に加入し、保険料を納めることが義務づけられています。若いときに公的年金に加入し保険料を納め続けることで、老後の生活を保障するだけでなく、万が一、病気や事故で障害が残ったときや一家の働き手が亡くなったときなど、あなたやあなたの家族を守ってくれます。

ただし加入の届出や保険料の納め忘れがあると年金が受けられないこともありますので、加入手続きを行いましょ。加入に関する各種手続きは、役場または最寄りの年金事務所へお問い合わせください。

※20歳前に就職して厚生年金に加入中の方は、手続きは不要です。

国民年金の給付は、3種類の基礎年金があります。

- 老齢基礎年金
- 障害基礎年金
- 遺族基礎年金

※上記年金を受給するためにはそれぞれ受給要件があります。

被保険者の種類	第1号被保険者	第2号被保険者	第3号被保険者
対象者	20歳以上60歳未満の自営業、農林漁業、学生、無職の方など	会社員、公務員など	第2号被保険者に扶養されている20歳以上60歳未満の配偶者
保険料	国民年金保険料 定額：16,260円 (平成28年度) 付加保険料：400円	報酬に応じて、事業主と被保険者が折半で負担します。	被保険者本人は保険料負担が不要です。(配偶者の加入している厚生年金の保険者が負担します。)

学生納付特例制度について

学生の方は一般的に所得が少ないため、ご本人の所得が一定以下の場合、国民年金保険料の納付が猶予される制度です。

対象となる学生は、学校教育法に規定する大学(大学院)、短期大学、高等学校、高等専門学校、専修学校及び各種学校(修業年現1年以上である課程)、一部の海外大学の日本分校に在学する方です。

学生納付特例が承認された期間の年金は、将来の受給資格期間には導入されますが、将来もらえる年金額には反映されません。ただし、保険料を10年以内に納付(追納)することにより年金額を増やすことができますので、社会人になってから保険料を追納することをおすすめします。

Q. 国民年金保険料を安くする方法はありますか？

A. あります！

前納制度をご利用ください。

国民年金保険料を早めに納める(前納)ことにより、保険料が割引になります。

年金手帳は大切に保管しましょう！

公的年金制度では、全ての年金制度に共通する基礎年金番号が使用されます。国民年金や厚生年金に加入すると基礎年金番号が記載された年金手帳が交付され、加入記録や保険料状況等がこの番号で管理され、年金に関する手続きの際必要となりますので、大切に保管してください。

両竹行政区

総会・交流会



10月29日、30日、磐梯熱海温泉「かんぽの宿」において、両竹行政区の総会、交流会が開催され、17人の方々が県内外の避難先から参加しました。

総会に先立ち、東日本大震災及び福島第一原子力発電所の事故から5年7カ月を迎え、震災で亡くなられた方々のご冥福を祈り、黙とうを捧げました。

初めに、齊藤六郎区長から「5年7カ月の長い避難生活のご心痛、ご苦労は人の苦しみの限界を超えたものです。しかし、故郷への帰還の時期は未確定であり、これからの避難生活はいつまで続くかわかりませんが、今後も希望と夢を持っていきましょう」とあいさつがありました。

次に、泉田達生さんが議長に選出され、平成27年度の事業報告並びに会計報告があり、すべて承認されました。

続いて、両竹行政区の現状と今後の在り方について話し合われました。「神社・墓地の現状」「イノシシ被害の甚大さ」「太陽光発電の進捗状況」など、齊藤区長より説明の後、参加者の皆さんが意見を述べられ、町への要望として①「両竹公民館の早急な改修」②「上下水道の修復」③「墓地の参道の整備」が出されました。

総会終了後、交流会に入りました。久々の再会を喜び、懐かしみ、酒を飲み交わしながら、それぞれの思いを吐露していましたが、いつ帰還できるかわからない重い気持ちを押し込んだ交流会は、ふるさと両竹地区での晴れ晴れしい会合とは違ったものでした。

翌日30日は、来年の再会を誓い「お互い頑張っぺ、元気だな」との言葉で別れを惜しみ、各避難先へと帰って行きました。

長塚一行政区からのお知らせ

長塚一行政区の総会・交流会を開催しますのでご参加ください。

- 日時… 3月26日(日)～27日(月)
 - ・受付 14:30～
 - ・総会 15:00～
 - ・交流会 18:00～

○場所… 小名浜オーシャンホテル
いわき市泉町下川大畑17

○会費… 10,000円

○申込期限… 3月15日(水)

参加の有無をお知らせください。

○その他

- ・町からの「現況説明会」も考えています。
- ・会費については生活サポート補助金の対象となります。
- ・役員の方は14:00に集合してください。

【連絡・申し込み先】

○木幡 智清 ☎090-7666-3116

○岩元 善一 ☎090-7338-9644



行政区長会研修会 〜冬季研修会〜

11月27日、28日の2日間、茨城県大洗町「かんぼの宿」において行政区長会冬季研修会を開催し、17行政区の全区長が出席しました。

初めに、講師として出席していただいた伊澤史朗町長が「双葉町行政当面の課題」と題して講演をしました。内容としましては、除染関係、浜野・両竹地区に建設予定の復興祈念公園やアーカイブ施設、中野地区への企業誘致の着手、駅西の新市街地構想、さらに国への要望についてなど様々な取り組みや進捗状況についてわかりやすい説明が

あり、町政に対し理解を深めることができました。

各区長間の話し合いの中では、東京電力への賠償請求や各大字会開催での話題などを共有しながら、情報交換を行いました。

さらに、長引く避難生活で心身ともに疲弊しながらも、自立と生活再建に取り組む町民の絆と双葉町民としての帰属意識の維持へ、町当局と一体となって推進していくことなどが話し合われ、師走を前にして有意義な研修となりました。

双葉町行政区長会会長 石田 翼

◆◆ YoY (ワイワイ) 交流会 in 群馬を開催 ◆◆

11月14日、群馬県高崎市において交流会を開催しました。今年6月、群馬県での双葉町交流会を計画しましたが、参加者が集まらず開催に至りませんでした。今回は、群馬県以外に避難している方が多い中ではありましたが6人の方々が集まり開催することができました。

今回の交流会は「駅近・ソウルフードを食べる交流会」というテーマのもと、タブレット相談会と同時開催しました。参加人数が少ないこともあ



り、皆さんすぐに打ち解け合い、近況報告や震災前の双葉町での思い出話など、地元色満載のトークが繰り広げられ、ワイワイといった雰囲気となりました。

昼食に用意した群馬県で人気の「鶏めし弁当」と群馬名物の焼まんじゅうは、参加者の皆さんに大変好評で「2つのおいしいものが堪能できて良かった」という声も聞かれました。

好評だった2つの食べ物も話題となり、皆さんはほっこりした気分で時間が経つのも忘れて交流を深め、充実した時間を過ごしました。

なお、交流会名称を皆さんで考え、写真のような仕草で右手でY、口を表すo、左手でYを表現するYoY (ワイワイ) 交流会とすることにしました。

また、群馬県内に在住している方だけでなく、誰でも参加できることとし、今年2月頃にYoY交流会 in 群馬の開催を予定しました。ふるって参加してください。お待ちしております。

YoY交流会 代表 千吉良 高志



婦人学級の活動報告



12月号に引き続き、今月号では、梅檀婦人学級（福島市）、はなみずき婦人学級（加須市）、桜婦人学級（いわき北）、ひまわり婦人学級（白河市）の活動についてご紹介します。

梅檀婦人学級（福島市）…現地研修 ～in 那須～



10月4日、那須の各所を巡り、現地研修を行いました。天候にも恵まれ、豊かな自然の中でおいしい昼食をいただくなど、楽しい時間を過ごしました。



はなみずき婦人学級（加須市）…現地研修 ～in 東京～



10月13日、東京方面へ現地研修を行いました。

目黒雅叙園や国会議事堂など、普段なかなか行くことがない場所を見学することができ、とても勉強になりました。



桜婦人学級（いわき北）

…茶道教室

11月7日、いわき市文化センターにおいて、茶道教室を開催しました。

初めて経験する方が多くいましたが、茶道の基本から教えていただき、おいしいお茶をいれることができました。



今年も、双葉町民有志の「夢ふたば人」主催により、「双葉町ダルマ市」が開催されます。

新春恒例!

■日 時：平成29年1月7日(土)～8日(日) 午前9時～

■場 所：いわき市南台応急仮設住宅 イベント広場

■主要内容：

7日(土) 神楽奉納・巨大ダルマ引き・子ども樽神輿・桜小路富士丸(似顔絵/両日)
LOVE FOR NIPPON STAGE(渡辺俊美・Candle JUNE 他)

8日(日) ダルマ神輿・双葉町芸能発表会・ひよっとこ踊り・T&K企画歌謡ショー

【問い合わせ先】産業課 商工労政係 ☎0246-84-5214

双葉町ダルマ市開催のお知らせ

夢ふたば! 明日に踏み出せ!! in南台

◆ 双葉町民俗芸能発表会 ◆

日 時	芸 能 名	団 体 名	
7日(土) 8:30	新山の神楽	新山芸能保存会	
8日(日)	9:30	前沢の女宝財踊り	前沢女宝財踊り保存会
	9:45	渋川の神楽	渋川芸能保存会
	10:10	相馬流れ山踊り	双葉町相馬流れ山踊り保存会



◆ 第27回 双葉町芸能発表会 ◆ 開催日：1月8日(日)

時 間	演 目	団 体 名
10:30	開 会	
10:40	花笠音頭(唄)、秋田大黒舞(踊り)	双葉町民謡同好会
10:50	七つの子、365日の紙飛行機、川の流れのように	コーラスふたば
11:00	波、龍虎の舞	新日本舞踊 若幸流
11:10	一月一日、さくら変奏曲、恋の季節、富士山	J Aスマイル大正琴
11:30	いなずま、夏	標葉せんだん太鼓保存会
11:55	閉 会	※開演時間は目安です

【問い合わせ先】
双葉町教育委員会 教育総務課
生涯学習係
☎0246-84-5210

ひまわり婦人学級(白河市)…お菓子作り



11月9日、白河市産業プラザ人材育成センターにおいて、お菓子作りを行い「人参ケーキ・パンケーキ」を作りました。簡単にでき、短時間でとてもおいしい、しっとりふわふわのお菓子が出来上がりました。



相馬税務署からのお知らせ

1. 平成28年分確定申告書へのマイナンバーの記載について

税務署に平成28年分の所得税等の確定申告書を提出する際には、マイナンバーの記載と本人確認書類（番号と身元の確認できるもの）の提示または写しを添付していただく必要があります。

《本人確認書類の例》

- (1) 個人番号カード（番号確認と身元確認）
- (2) 通知カード（番号確認）+ 運転免許証、健康保険の被保険者証など（身元確認）

※申告書作成会場においてになる際は、本人確認書類の持参をお願いいたします。
確定申告書を郵送する場合は、本人確認書類の写しの添付をお願いいたします。

2. 確定申告書の便利な作成方法について

所得税、消費税及び贈与税の確定申告書の作成に当たっては、国税庁ホームページの「確定申告書等作成コーナー」が便利です。

作成コーナーで申告書を作成して紙に印刷し、税務署へ郵送等により提出することができます。

申告書の計算誤りの防止、来署される納税者の皆さまのご負担も軽減できますので、是非とも国税庁ホームページの「確定申告書等作成コーナー」をお試しください。

※平成28年分については、平成29年1月に掲載予定です。
国税庁ホームページ <http://www.nta.go.jp>

3. 平成28年分の所得税等の確定申告書作成会場について

平成28年分の所得税（及び復興特別所得税）、消費税及び贈与税の確定申告期における申告書作成会場は、右記のとおり開設する予定です。

- 申告書作成会場
『相馬市振興ビル』
相馬市中村字塚ノ町65-16
- 開設期間等
平成29年2月8日（水）～3月15日（水）
午前9：00～午後4：00

- ※1 申告書作成会場の開設期間前と開設期間中、相馬税務署内には会場を開設いたしません。
- ※2 土日・祝日は、作成会場を開設いたしません。

税理士による 無料税務相談会のお知らせ

原発事故被災者及び平成28年中に住宅を取得（増改築を含む）し、確定申告で住宅借入金等特別控除を受ける予定の方のための「無料税務相談会」を下記のとおり開催いたします。

- 開催日：平成29年1月21日（土）・1月28日（土）の2日間
- 時 間：10時から16時（最終受付は15時）
- ところ：南相馬市中央図書館中会議室（南相馬市原町区旭町2-7-1）

【問い合わせ先】 東北税理士会（福島県税理士会館） ☎024-534-3907

日本年金機構からのお知らせ

平成28年分 公的年金等の源泉徴収票の発行について**～ 確定申告まで大切に保管ください～**

平成28年中に厚生年金・国民年金等の老齢または退職を支給事由とする年金を受け取られた皆さまに、平成28年分として支払われた年金の金額や源泉徴収された所得税額等をお知らせする「平成28年分 公的年金等の源泉徴収票」(ハガキ)が日本年金機構から、平成29年1月中旬以降に送付されます。源泉徴収票は、確定申告の際に必要な書類となりますので、大切に保管ください。

問い合わせ先

ねんきんダイヤル ☎0570-05-1165

※050で始まる電話でおかけになる場合は、
☎03-6700-1165へおかけください。

受付時間

月曜日 午前8時30分～午後7時

火～金曜日 午前8時30分～午後5時15分

第2土曜日 午前9時30分～午後4時

..... お問い合わせの際には、基礎年金番号等をお知らせください。

※電話による源泉徴収票の再交付を希望される場合は、発送まで2週間程度かかりますので、お急ぎの方は最寄りの年金事務所へご相談ください。

環境省 福島環境再生事務所からのお知らせ ～中間貯蔵施設について～

◇輸送について(12月20日現在)

▶双葉町内中間貯蔵施設保管場の試験輸送の状況は下記のとおりです。

○実施中[平成28年度の輸送]

浪江町(6月20日開始)・伊達市(7月8日)・福島市(9月5日)・川俣町(10月3日)
葛尾村(10月5日)・大玉村(10月24日)・飯館村(11月2日)・相馬市(11月4日)
本宮市(11月14日)・二本松市(11月17日)

[学校等の輸送]

二本松市(9月5日開始)・桑折町(9月6日)・国見町(9月27日)・相馬市(10月1日)
本宮市(10月6日)・新地町(10月12日)

○輸送終了[平成28年度の輸送]

葛尾村(10月5日～11月29日まで)

▶年末年始(12月28日～1月4日)は輸送を休止する予定です。

◇環境安全委員会について

▶11月30日に福島県、双葉町及び大熊町等の委員からなる中間貯蔵施設環境安全委員会(第6回)が開催され、工事や試験輸送の状況等について報告しました。

引き続き安全確保に努めて中間貯蔵施設事業に取り組んでまいります。

◇保管場及び陳場下交差点の放射線監視

▶空間線量率の測定により、除染土壌等の搬入による周辺への影響は見られないことが確認されています。今後もしっかりと安全対策及び放射線の監視を行ってまいります。

▶中間貯蔵施設及び周辺モニタリングの結果については、以下のJESCO(中間貯蔵・環境安全事業株式会社)のHPで公表しております

(URL) <http://www.jesconet.co.jp/interim/operation/monitoring.html>



【問い合わせ先】福島環境再生事務所 中間貯蔵施設等整備事務所 調査設計課 ☎024-563-1293

双葉町地域包括支援センターのご案内

～ 業務内容について ～

地域包括支援センターは、高齢者の皆さんの生活を支援するため、双葉町が介護予防や相談窓口などの仕事を委託した機関で、双葉町社会福祉協議会が運営しています。

介護に関する悩みや不安、日常生活で困っていることについて、お気軽にご相談ください。

総合相談：なんでもご相談ください



病院から退院するのに自宅で介護する準備をしたいがどうしたらいい？



認知症の母の徘徊がひどくて困っている



1人暮らしが不安になってきたけど…



隣のおじさんが悪徳商法にダマされているみたいなんですけど…

介護保険サービスを利用されている方や担当するケアマネジャーを支えます

介護保険サービスを利用している方が、より良い支援を受け、安心して生活を送ることができるようケアマネジャーや介護保険利用者の方の支援を行います。



権利擁護：みなさんの権利を守ります

消費生活センターや行政などと協力して、高齢者の被害を未然に防ぐよう努めています。

また、お金の管理や契約に関することに不安があっても頼れる方がいないなどの場合には、成年後見制度が利用できますので、ご相談ください。

介護予防：自立した生活を支援します

要介護状態になることを予防するため、必要な方に介護予防サービス計画を作成し、各種教室などに参加して頂くことにより、地域で元気に生活を続けられるようお手伝いします。

< 双葉町地域包括支援センターのご案内 >

- いわき市東田町二丁目19-3 トークビル1階A号 ☎ 0246-84-6725
- いわき市南台三丁目1-1 サポートセンターひだまり内 ☎ 0246-38-7105
- 郡山市喜久田町卸1丁目1-1 南東北総合卸センター2階第5会議室 ☎ 024-973-5291

※全国各地へ避難されている皆さまへ

現在お住まいの地域の地域包括支援センターで上記のサービスを受けることができます。お近くの地域包括支援センターへご相談ください。

なお、お住まいの近くの地域包括支援センターが分からない場合などお困りの際は、上記の双葉町地域包括支援センターにご連絡ください。お近くの地域包括支援センターへお取次ぎいたします。

健康コラム

冬の水分補給
〜気づかないうちに脱水に〜

◆ 私たちの体は、冬でも夏と同じくらい水分を排出しています。冬場は乾燥している上に、暑さを感じにくいことから知らず知らずのうちに水分が不足しがちになります。

◆ 病気の予防に大切です

① インフルエンザや風邪に有効
インフルエンザウイルスは湿度が50%以上になると活動が急激に低下します。水分補給やうがいでのどや鼻の粘膜を潤してウイルスの侵入を防ぎましょう。熱などの症状があるときは、より多くの水分が体から出てしまうので水分補給を心がけましょう。

② 脳卒中、心筋梗塞予防

水分摂取が少なくなる冬は、血液がドロドロになりがちです。さらに寒さから血圧が上昇しやすく、脳卒中や心筋梗塞を起こしやすくなります。少しでも発症の危険性を下げるためにも、水分補給は大切です。

◆ 水分補給の方法

コップ一杯程度の量を一日に6〜8回飲むのが目安です。常温で飲むのが一番身体に良いとされています。

◆ 効果的な水分補給のタイミング

就寝前と起床後、入浴前後 眠っている間にコップ一杯程の水分が失われています。就寝前の水分補給は、睡眠中に血液中のミネラル濃度が高くなることを抑え、酸性に傾いた体内をアルカリ性に戻す効果があります。さらに、朝の水分補給も大切です。

また、入浴中に汗をかくと、血液の粘度が増して、血管が詰まりやすくなります。これを防ぐためにも入浴前に水分補給をすることが大切です。そして、入浴後の水分補給が更に効果的です。

◆ お酒を飲むときにも水分補給

アルコールには利尿作用があるため、飲み過ぎると体は脱水状態となります。アルコールを飲んだら意識的に水分を補給しましょう。

お問い合わせ先

健康福祉課 健康づくり係

☎ 0246-84-5205



双葉町社会福祉協議会

〜 1月健康運動教室、社協サロンのお知らせ 〜

こころとからだの健康のため、運動不足を解消しましょう。お気軽にご参加ください。

会場	問合せ・申込先	開催月日	時間
健康運動教室 （内容：健康講話、相談、運動機能の維持・向上等）			
福島市北幹線第二応急仮設住宅集会所 福島市飯坂町平野内小原田 8-1	☎ 080-6033-1196（小林）	1月 5日（木） 1月 19日（木） 1月 26日（木）	13:30 ~ 15:00
白河市郭内第二応急仮設住宅集会所 白河市郭内 151-29	☎ 080-6290-5930（廣田）	1月 10日（火） 1月 17日（火） 1月 24日（火）	10:00 ~ 11:30
南東北総合卸センター 2階第6会議室 郡山市喜久田町卸 1丁目 1-1	☎ 024-973-5291（開発）	毎週火曜、水曜日	13:30 ~ 15:00

社協サロン（内容：健康講話、相談、趣味、生きがいづくり交流等）

※社協サロンでは昼食を準備致しますので事前に申込みをお願いします。

サンライフ福島 福島市北矢野目字檀の腰 6-16	☎ 024-973-5291（開発）	1月 27日（金）	10:00 ~ 14:00
-----------------------------	--------------------	-----------	---------------

サポートセンターひだまり出張サロン

（内容：健康体操、健康講話、交流会等）

かしま交流センター 2階 南相馬市鹿島区横手字川原 186-1	☎ 080-6290-5927（渡邊）	1月 24日（火）	10:30 ~ 14:30
富岡町役場いわき支所多目的集合施設 いわき市平北白土字宮前 8番地	☎ 080-6290-5927（渡邊）	1月 26日（木）	10:30 ~ 14:30

【問い合わせ先】 双葉町社会福祉協議会 郡山事務所 ☎ 024-973-5291 【担当：開発】

平成29・30年度指名競争入札参加資格審査受付

町の指名競争入札に参加するためには、「指名競争入札参加審査資格申請書」を提出する必要があります。提出された申請書は、一定の基準に基づき審査を行い、必要な資格を満たしている方を有資格者として登録します。

今回は、平成29・30年度の2カ年分の資格審査申請書を受け付けます。

▼受付期間

平成29年2月1日(水)から2月28日(火)まで
持参の場合：午前8時30分～午後5時15分
※土・日曜日、祝日を除く

▼提出書類

・福島県様式に準じる(各1部提出)
詳細は双葉町のホームページをご確認ください。
※申請書はA4ファイルとじとします。
※ファイルの色については、(建設工事：グリーン、
測量等：イエロー、物品・役務：ピンク)で提出
してください。

▼提出場所および提出方法

持参または郵送(締切日必着)のいずれかの方法により双葉町役場いわき事務所総務課管財係へ提出してください。受付票が必要な方は、受付印を押印する書類と返信用封筒、もしくは返信用はがきをご用意ください。(任意様式可。宛先を記入し、必ず郵送料金分の切手を貼付けること)

▼当該資格の有効期間

平成29年6月1日から平成31年5月31日までの2年間有効です。

【問い合わせ先】 総務課 管財係 ☎0246-84-5200

双葉農業普及所からのお知らせ

1月は、右記の日程で相談窓口を設置します。

窓口では、相談者の現在の状況を聞き取らせていただきながら、皆さんが必要な情報、(農産物・土壌モニタリング結果、原子力災害に対応した農業技術情報、資金・事業の紹介など)をわかりやすくご説明いたしますので、お気軽にお越しください。

※町村問わずに最寄りの窓口にお越しください。

双葉農業普及所ブログ「ふたばの農業通信」にも掲載しておりますので、ご利用ください。パソコン、携帯電話からご覧になれます。

【1月の日程】 時間：午前10時～正午

1月12日(木)	双葉町役場いわき事務所 産業課 (いわき市東田町地内)
1月19日(木)	郡山市富田町若宮前 応急仮設住宅集会所(富田町仮設住宅)
1月20日(金)	大熊町役場いわき出張所 産業建設課 (いわき市好間工業団地内)
1月20日(金)	葛尾村役場 地域振興課
1月26日(木)	浪江町役場 産業振興課

【問い合わせ先】

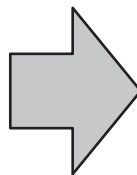
相双農林事務所双葉農業普及所 ☎：0240-23-6474 FAX：0240-27-4747
川内普及所(川内村役場内) ☎/FAX：0240-38-3434

衣類等の洗濯表示(取扱い表示)が変わります

平成28年12月から、衣類等の繊維製品の洗濯表示が新しいJIS L 0001に規定する記号に変更されました。新しい洗濯表示では、記号の種類が22種類から41種類に増え、繊維製品の取り扱いに関するよりきめ細かい情報が提供されることにより、一般消費者の利便性の向上が期待されます。詳しくは、消費者庁ホームページをご覧ください。

現行の洗濯表示(例)

洗濯の仕方 手洗い 30	漂白の仕方 △	乾燥の仕方 平
アイロンのかけかた 高	クリーニングの種類 ドライ	



新しい洗濯表示(例)

洗濯の仕方 👉	漂白の仕方 △	乾燥の仕方 🌀	👉
アイロンのかけかた 👉	クリーニングの種類 🅑 🅓		
		タンブル乾燥	自然乾燥
		ドライクリーニング	ウェットクリーニング

【問い合わせ先】 消費者庁表示対策課 ☎03-3507-9233

中間貯蔵施設に係る 弁護士相談窓口のご案内（1月）

◇ 開催場所及び開催日時

実施場所	開催日	開催時間
双葉町 いわき事務所	1月13日（金）	午後2時～ 午後5時
双葉町 郡山支所	1月19日（木）	午後2時～ 午後5時

◇ 申込方法

事前申し込みになりますので下記の連絡先までご連絡をお願いいたします。

【申し込み・問い合わせ先】

建設課 復旧復興係 ☎0246-84-5209

受付時間 午前8時30分～午後5時15分（平日）

千葉県及び近隣地域にお住まいの双葉町民の皆さまへ

「千葉ひまわり会」の新年会を計画しています。皆さまのご参加をお待ちしています。

日時：1月13日（金）12：00～

会場：JOYSOUND 松戸五香サンロード店
千葉県松戸市常盤平5-17-8
（新京成線五香駅西口より徒歩2分）

内容：食事会、カラオケ

参加費：男性 3,000円・女性 2,000円

※定員となり次第締め切りとさせていただきます。

※双葉町以外から避難している方もご参加いただけます。
浪江町民のみなさんを中心とした「ともにいきる会」
との合同開催を予定しています。

※ご不明な点などがありましたら、お気軽にお電話ください。

【申し込み・問い合わせ先】 千葉ひまわり会

- ・千代田 信一（羽鳥） ☎090-9422-0593（19時以降にご連絡ください）
- ・松浦 トミ子（鴻草） ☎090-3334-3984
- ・双葉町復興支援員（ふたさぼ）秋元 ☎070-5550-7645



消防署からのお知らせ

新春のお喜びを申し上げます。
本年もどうぞよろしくお願いたします。



年始から「火の用心！」

火事の原因で多いのが「放火」「たばこ」「コンロ」の順となっています。最も多い放火では、家の外に燃えやすい物を置いていて火をつけられてしまうケースが何件もありますので、家の周りに燃える物を置かないようにしましょう！

また、1月～3月までは空気がとても乾燥し、火事が起きやすくなっています。火の元・火の後始末はしっかりと行い、火事のない穏やかな一年にしましょう！

今年も「火の用心」でよろしくお願いたします。



「ヒートショック」にご用心！

「ヒートショック」とは、寒い日に暖房の効いた部屋から、廊下やトイレ・浴室などの寒い場所へ移動した時の急激な温度変化により受ける身体のダメージを言います。

最悪の場合、脳卒中や心筋梗塞につながりますので注意しましょう！



お餅による窒息事故に気をつけて！

お餅は新年を祝うもの、安全に十分配慮し楽しく新年のスタートを切ってください。



火事と救急は
119番

< 消防署連絡先 >

- ・浪江消防署 ☎0240-34-7360
- ・富岡消防署 ☎0240-25-2119





双葉の風だより

全国に避難されている皆さんから寄せられた
お便りの一部をご紹介します

復興双葉音頭

- 一、ドント波打つ双葉の浜に
誉れ名高い百選の
自慢の海に船出して
双葉大漁の陽が昇る
- 二、西に阿武隈連なる峰の
聳え在す十萬山よ
四季の恵みの宝の山よ
双葉の郷の守り神
- 三、双葉良い郷来て見やしゃんせ
娘美人で唄どころ
さあさ皆さん手拍子を
復興音頭でドントコイ

中里 たかとし(山田)

- ・花だより ゴーストタウンに咲くさくら
めでる人ふき 淋しく散りぬ
- ・もの作り 八十路の手習ひ又楽し
絆寄せ合う 集会所
- ・仮設友 出で湯の宿に集い来て
土産話に 夜の更ける迄
- ・人の世は いつかは別れ来るものと
思へど悲し 秋の夕ぐれ

吉田 サダ子(長塚一)

新年

- ・去年今年 町贈答品 有り難や
- ・六年やよい事ありし今年かな
- ・初春や 列島結ぶ 広報紙
- ・原発忌獣と遊ぶ枯芒
- ・燃ゆる赤 小さな庭の 金魚草
- ・世の中を 筆書き詩文 年賀状

鎌田 益實(三字)

おめでとつございます

埼玉県加須市と双葉町 友好都市盟約締結式

平成23年3月の大震災より避難を続けた者として、終生忘れ得ぬ事として肝に銘じ、当時を振り返り、改めて感謝の意を表したいと思います。

感謝

「災の故郷から彩の国」

災のふるさと魔風に追われ
昨日も今日も転んで起きて
途もあかりもない暗闇を
歩き続けた避難旅
明日に命をつなぐ為

離れて遠く異郷の地
救への神の導きか
両手差し伸べ支援の声を
掛けてくれたり彩の国
闇夜に灯り涙あり

流れ豊かな大利根の
桜菜の花競え咲き
淀みもありて花筏
避難の傷も癒されて
人の情の深さ知る

あれから二千有余日
悲喜交々の日はあれど
人の情と支えを胸に
瞼の奥にきざみ置く
生きる力ぞ彩の国

吾が命 永らいたれば

報恩の

春の訪れ凜として待つ

武内 恒雄(長塚二)

人のうごき11月分

敬称略

お誕生おめでとうございます

氏名	生年月日	保護者	行政区
渡部 輝綱	11月2日	嘉綱・勝子	山田
武内 樹莉	11月23日	直樹・真莉	郡山

お悔み申し上げます

氏名	年齢	死亡日	行政区
愛沢千代子	88	10月28日	郡山
加村美恵子	86	10月30日	三字
土田 郁夫	82	11月15日	下長塚
福田 竹子	91	11月17日	下長塚
加村 英敬	73	11月22日	三字

<お詫びと訂正>

12月号に掲載しましたお名前に誤りがありましたので、お詫びして訂正いたします。

誤 稲田 瑛人 → 正 稲田 瑛斗

双葉町民の避難状況 (平成28年12月1日現在)

- ・福島県内に避難されている方 4,089人
- ・福島県外に避難されている方 2,874人

※平成23年3月11日時点の住民基本台帳人口から死亡者を引き、出生者と転入者を加えた人口を示しています。

連絡のついた方で、了承の得られた方のみ出生、死亡の方の名前を掲載しています。

なお、掲載を希望しない場合は秘書広報課までご連絡ください。

秘書広報課 ☎0246-84-5202

双葉町を忘れない

平成23年3月11日に発生した東日本大震災、そして福島第一原子力発電所の事故により、私たち双葉町民はふるさと双葉町を離れ、今もお全国に分かれて避難生活を送っています。

先の見えない不安な生活の中で、町民の皆さんが毎日をどのような思いで過ごし、ふるさと双葉町への思いを抱き続けているのかを、皆さんの声をお聴きしながら「ふるさと絆通信」として連載していきます。

そして「ふるさと絆通信」を通して、皆さんの双葉町への思いと心の絆がより一層深まることを期待いたします。

記録として次の世代へ ぎずな ふるさと絆通信

第44号



ずっと、ふるさと。双葉町。

「ふるさと絆通信」であなたの想いを伝えてみませんか。

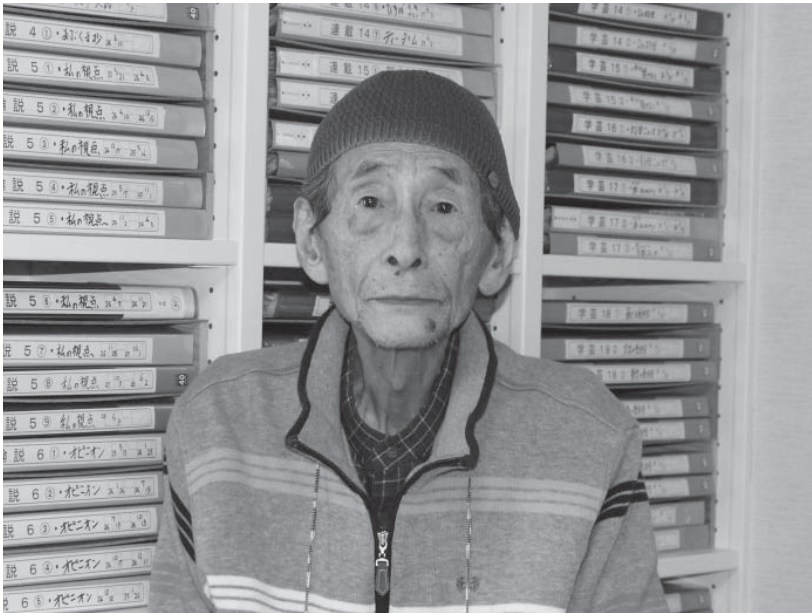
ふるさと絆通信では、避難されている皆さんへ想いを伝えていただける方を募集しています。避難生活での活動や日々の生活の中で感じていること、ふるさと双葉町への想いをこのコーナーでお話ください。双葉町民の方ならどなたでも結構ですので、ご連絡をお待ちしています。

—想いを伝える—

ふるさと絆通信は、株式会社鹿島印刷所（南相馬市）の記者が町民の皆さんの避難先を訪問し、インタビュー取材をさせていただいています。掲載する文章は、インタビューの内容をもとに記者が作成しますので、インタビューをお受けいただいた方が文章を作成する手間はございません。

【問い合わせ先】 秘書広報課 ☎ 0246-84-5202





ほんだ いさむ
本田 勇 さん

(下条)



●避難先●
 福島県福島市

今と真逆の社会情勢

大学を卒業し教員になった昭和30年前後、高度成長期で民間企業の給与水準が高く、相対的に給与が低い公務員や教員の手が少くないという、現在とは真逆の状況でした。しかし、大学在学中から、地域文化・児童文化の研究に取り組み、福島県内各地を歩いていたこともあって、卒業後、県内で教員になることを志望していました。

初任地が縁で町民に

教員生活のスタートを切ったのが、旧・新山小学校(現・双葉南小学校)でした。旧・本宮町(現・本宮市)出身ですが、現在とは違い、週末は実家に戻るような時代ではなかったため、地域の皆さんと広く交流することができ、そうした中、双葉町在住の妻と出会い、家庭を持ち、私にとって双葉町が故郷となりました。

教育は「社会インフラ」

教員を定年退職後、十数年間、町社会教育指導員を務めました。在任中、主に幼児教育を担当し「教育は地域づくりの基礎」と考え、前例踏襲や受動的ではない、その地域の実態と将来を見据えた視点に立ち活動しました。また、そうした活動を体系的に整理し「子どもの生活を考える」という冊子にまとめることも行いました。

避難生活と新聞

原発事故による避難後、深刻化する原発事故や町の動向などについて、テレビや新聞が情報源となっています。テレビに速報性がありますが、その情報は「現在進行形」。一方、新聞は「紙面の記事」として掲載時点での「現在完了形」となっているため、これまでの経緯を知る上では、非常に有効な手段です。そのため、福島民報と朝日新聞の記事を切抜き、切抜帳に綴り、昨年9月末現在で約260冊になりました。この切抜帳は、私にとって、新しい発見を用意してくれるなど、常に心地よい刺激を与えてくれます。

町の将来は「復興」ではなく「再生」を

当町にとって、将来に向けた行動は、復興ではなく「再生」であると考えます。町外避難をプラスに捉え、他地域の生活を通して多くのことを吸収し、町民同士が離れて暮らす中でも、時間を見つけて議論し合うなど、これまでの常識にとらわれない取り組みが必要です。

今後、町民の中には町内に所有する土地を維持できない方も出てくると思います。例えば、将来の新しいまちづくりのために、行政がそうした土地について「町の未来への付託」を受けるときに、迅速な行動をとれるようにする取り組みも必要かと感じています。

はたなか たかひろ
畑中 高広 さん

(郡山)



●避難先●
 千葉県流山市



電力会社への就職

青森県の旧・大畑町（現・むつ市）の出身です。高校3年生のとき、東北電力㈱と東京電力㈱ともに求人がありました。当時、私の他、同級生1名が電力会社への就職を希望していましたが、その同級生は親を亡くしたため、実家近くに残りたいという事情がありました。幸い、私は両親が健在だったこともあり、地元を離れ、東電に就職しました。

かつて「東洋一」といわれた初任地

東電への入社後、配属になったのが、東京都江東区にあった新東京火力発電所で、昭和31年に稼働を始め、当時「東洋一」と評されるほどの設備でした。同発電所に約5年半ほど勤務しましたが、設備老朽化により休廃止が決まったことや、原発部門の拡大が進んでいたこともあり、昭和58年10月、福島第一原発に転勤となりました。

夫婦とも福島県外の出身で

当時、首都圏から福島原発に異動した社員が多く、特に、独身の若い世代は、こちらで知り合い結婚した者もいました。私も双葉への転居後に結婚しましたが、妻とは東京で勤務していたときに知り合った社内結婚でした。私は田舎育ちのため、何でもありませんでしたが、インターネットも高速道路も無い時代、都会育ちの妻は大丈夫かと心配しまし

た。しかし、地域の皆さんに迎え入れていただき、すっかり「双葉人」になり、妻の付き合いは、避難後の現在も続いています。

始まりは「自転車競技」から

若い頃から自転車競技に興味がありました。20歳代後半、浪江町内のショッピングセンターで競技用自転車が売られているのを見かけ、妻に話したところ「パチンコを止めるならば」となり、早速、購入して自転車競技を始め、そのうち、トライアスロンに進んでいきました。さらに40歳代を迎えた頃から、マラソンなどの走りに中心を置くようになりました。

そうした中、ふくしま駅伝当町チームの世話人を引き受けるようになり、平成25年からはメンバーとして出場しています。

2区間合計「100歳越えの」たすきリレー

平成26年以降、第2区・第3区の2区間は、勤務先の後輩でもある森山君とともにたすきを繋いでいます。ふくしま駅伝は、ラジオは全区間、テレビでは前半区間が中継されます（終了後に全区間が中継録画で放送）。テレビで、私たち2人がたすきを受け渡す様子を「100歳越えの」と実況され、内心、複雑な思いではありますが、故郷復興のためにも、世代交代できるまでは、続けられればと思います。



もりやま みつあき
森山 光昭 さん

(山田)



●避難先●
福島県郡山市

就職と結婚が縁で双葉町民に

青森県八戸市出身で、高校卒業後、就職で双葉郡内での勤務となり、大熊町内にいる社員寮での生活となりました。その後、双葉町在住の妻と結婚し婿養子となったため、30歳になった頃、双葉町に移りました。

きっかけは「健康」と「うまいビールのため」

長年、駅伝やマラソンなど走ることや登山などに親しんでいます。特に、走ることに関して、同好者の多くは、小中学生の頃から走るのが早く、得意なため続けているようですが、私の場合、特にそういったわけでもありません。

第一原発で勤務するようになり、健康維持のため、昼休みなどに構内を走るようになったというのが始まりで、成人してからは、走った後に飲むビールの味を覚えたこともあるかもしれません。そのうち、走ることは特別な道具や施設を必要とせず、自分のペースで続けることができ、仕事や登山に必要な体力づくりにも役立つとして、生活の一部のような存在となりました。

2チームからの出場を経験

ふくしま駅伝には、これまで約20回出場してきましたが、初めのうちの4回は、大熊町チームから、5回目以降は当町チームのメンバーとして出場しています。双葉郡内で

は、結婚や自宅を建てたためによる隣町への転居はよくあることですが、私のように駅伝チームを「他町から移籍」というケースはあまり耳にしません。そのため、移籍からしばらくの間、かつてのチームメイト（大熊）がライバルになるということもありました。

駅伝チームを応援し続けます

双葉町への転居以降、震災からの2年間のと、その他数回を除いて、ふくしま駅伝に出場しています。

駅伝の他、各地のロードレース大会に出場しています。県内の大会では、ふくしま駅伝に参加経験のある同世代と肩を並べることもあります。時折、そうした皆さんから、駅伝に出場できることをうらやまれることがあります。特に都市部では、若いメンバーを確保できるため、中高年になると声がかからなくなるそうです。しかし、シニア世代が出走できる区間は、「中高年または中高生」に割り当てられるため、ライバルは各市町村にいる猛者クラスの中高生がほとんどで、毎回、非常に苦しい戦いとなります。

ふくしま駅伝を通して、双葉町の皆さんにはいろいろお世話いただき、また応援してもらいました。今後は、年齢面や体力的なこともあり、出走メンバーとしてではなく、サポートとして、故郷の駅伝チームと関わられるようになればと思っています。

ぼくの夢・わたしの夢



な か や ゆ う あ
 いわき市立菊田小学校6年 中谷 結愛さん(長塚一)

私の今好きなことは、自分で色々なものをデザインして作ることです。お店で気に入ったパーツを買ってきて、イヤリングやストラップなどのアクセサリーを作ったり、ネイルのデザインを考えてノートに描いたりしています。

思いつくとすぐに作りたくなるので、早朝でも夜遅くでも時間を忘れて夢中になってしまいます。最近は、家族からリクエストされて作ることもあり、イメージ通りにできあがり喜んでもらえるとてもうれしいです。

まだ将来の夢は決まっていないけど、自分の好きなことを生かすことができ、人に喜んでもらえるような仕事につけたらいいなと思っています。これからも素敵な作品をたくさん作っていきたいです。

今月のベストスマイル



編集後記



ふくしま駅伝のアンカーを走った井戸川俊さん(写真中央・新山)とご両親の笑顔です。

平成29年の新しい年を迎えました。今月の表紙は、昨年5年ぶりに作り替えられた初發神社のしめ縄を、今年も新しいものにするため氏子の方々と作っている場面です。力のいる大変な作業でしたが、そんなことを感じさせない雰囲気、皆さんが楽しんで作業しているのが伝わってきました。ずっと昔から続く神社の営みが、今は皆さんを再会させる機会にもなっているのだなと感じました。新しい年がスタートしましたが、皆さんは今年の抱負などをお決まりですか。4・5ページに年男年女の小学生に作文を書いてももらいました。震災当時、幼稚園や保育園に通っていた子どもたちが今は5、6年生となり、作文の中には、これから頑張っていきたいことなど、どの子の作文も前向きな内容であふれていました。子どもたちのように「○○を頑張る」「○○に挑戦したい」などの目標をもって前向きに生き生きと頑張る年にしていきたいですね。皆さんにとって良い年になりますように・・・

連絡先

○いわき事務所 〒974-8212 福島県いわき市東田町二丁目19-4
 ☎ 0246-84-5200 FAX 0246-84-5212、0246-84-5213
 ☒ futaba@town.futaba.fukushima.jp

○郡山支所 〒963-8024
 福島県郡山市朝日一丁目20番2号
 ☎ 024-973-8090
 FAX 024-933-5120
 ☒ fukushima@town.futaba.fukushima.jp

○埼玉支所 〒347-0105
 埼玉県加須市騎西36番地1 加須市騎西総合支所1階
 ☎ 0480-53-7780
 FAX 0480-53-7266
 ☒ saitama@town.futaba.fukushima.jp

○双葉町公式ホームページ <http://www.town.fukushima-futaba.lg.jp/>
 携帯サイト <http://www.town.fukushima-futaba.lg.jp/m/>

○双葉町公式ブログ「ブログ ふたばのわ」
<http://futabanowa.wordpress.com/>

